

シクリスムエコーNo.81 2001年10月号

2001年マウンテンバイク世界選手権 2
 2001年マウンテンバイク全日本選手権 3
 2001ツール・ド・北海道国際大会 4
 第36回全国都道府県対抗自転車競技大会 6
 全日本実業団選手権 / サイクルロードレース 8
 第57回全日本大学対抗選手権(インカレ) 10
 2001UCIトラックワールドカップ第5戦 12

連載企画アンチ・ドーピングについて 13
 2001年世界室内自転車競技選手権派遣決定戦 14
 UCIニュース / 委員会ニュース 15
 2001ロード・トラック・ランキング 16
 強化合宿 / 世界選選手団 / サイクルスポーツフェスティバル 18
 競技大会結果 19
 専門委員会小委員会・部会名簿 / 事務局人事 20



サイクルスポーツフェスティバル2001(東京ドーム)でのオリンピックプリント、ドイツチームのファンアイデン、フィードラー、ポコルニー

2001年マウンテンバイク世界選手権 ついに日本女子、世界チャンピオンに!!

9月8日から16日までアメリカ・コロラド州・ベイルにて2001年世界マウンテンバイク選手権大会が開催された。日本選手団は9月8日成田空港よりシアトル経由で、デンバーへ出発した。デンバーからは車でベイルに向う。途中、前日の雪の為に路面凍結にあうが無事到着。今回の世界選開催地ベイルは高地の為、日中は暑く、日が落ちると冷え込むので、選手たちは体調に注意しながら、体を慣らしてゆく。

コーストレーニングは、ダウンヒル(DH)クロスカントリー(XC)共に時間制限があり、思う様に練習が出来ず、XCの選手は、ロード中心に体調を作る。DHはコースを見ながらトレーニングを繰り返す。現地時間で11日朝ニューヨークでのテロ事件のために14日に予定されていたXCジュニア、U-23のレースが16日に変更になり、大会に影響が出た。

13日のレースはDHのシーディングから始まり、ジュニア女子出場の末政がトップタイムを出して、出だし好調。メカニックもタイヤ等交換



ワールドチャンピオン末政実緒

に忙しくなる。

14日は追悼式のため会場はすべてキャンセル。

15日の決勝は、ジュニア女子からスタート。予選でトップタイムの末政は最後のスタート。他の選手が次々と予選タイムを上回りゴールする中、末政がゴール前の壁にトップタイムで飛び出してきた。大観衆の見守るなかゴール!タイムはそれまでのトップを上回った。ついに念願の世界チャンピオン誕生。

他のカテゴリーの選手達も実力を出して完走。又、日本選手2名が予選、決勝で落車してゴール出来ず残念であった。

16日XCジュニア男子スタート、広瀬は実力を出して完走。U-23の小笠原はスタート直後パンク、そのまま走るがスピードが上がらず失格となる。男女エリートは前のレースでモーターバイクが走った為に荒れたコースでのレースとなったが、各選手は日頃の力を出して完走を果す。今回の事件に日本チームとして哀悼の意を表します。

(監督 杉山 喜一)

[競技結果]

DH男子エリート (2.302km)			
1	VOUILLOZ Nicolas	FRA	3:35.20
2	PEAT Steve	GBR	3:37.55
3	MINNAAR Greg	RSA	3:37.84
54	竹本 将史	JPN	4:11.10
	内嶋 亮	JPN	DSQ
	安達 靖	JPN	DNS
DH男子ジュニア (2.302km)			
1	CORY Ben	AUS	3:48.24
2	CAMELLINI Julien	FRA	3:49.63
3	HILL Sam	AUS	3:53.04

32	向原 健司	JPN	4:25.34
DH女子エリート (2.302km)			
1	CHAUSSON Anne Caroline	FRA	4:10.37
2	GRIFFITHS Fionn	GBR	4:14.65
3	DONOVAN Leigh	USA	4:15.08
20	増田 まみ	JPN	5:05.39
DH女子ジュニア (2.302km)			
1	末政 実緒	JPN	4:30.34
2	GROS Céline	FRA	4:31.97
3	GASKELL Helen	GBR	4:37.02

XC男子エリート (41.63km)			
1	GREEN Roland	CAN	1:58:52
2	FRISCHKNECHT Thomas	SUI	1:59:36
3	SAUSER Christof	SUI	1:59:42
68	山口 孝徳	JPN	2:21:27
71	鈴木 雷太	JPN	2:25:22

XC男子アゲ-23 (41.63km)			
1	ABSALON Julien	FRA	1:59:09
2	HESJEDAL Ryder	CAN	2:00:47
3	FERGUSON Walker	USA	2:01:56
	小笠原崇裕	JPN	DNF

XC男子ジュニア (31.34km)			
1	LEJARRETA ERRASTI Inaki	ESP	1:33:35
2	NORDHAUG Lars	NOR	1:35:49
3	LOWE Trent	AUS	1:36:06
50	広瀬 允	JPN	1:51:08

XC女子エリート (31.34km)			
1	DUNLAP Alison	USA	1:51:28
2	SYDOR Alison	CAN	1:51:40
3	SPITZ Sabine	GER	1:52:18
19	南部 博子	JPN	1:59:04
31	中込由香里	JPN	2:05:35



2001年マウンテンバイク全日本選手権

今年の夏の暑さと同じように、今世紀初の日本マウンテンバイクチャンピオンを決める戦いが、8月25日・26日の2日間、島根県の三瓶温泉スキー場で繰り広げられた。私は、大会の3日前に現地に入ったのだが、もう既にダウンヒルのトレーニングが始まっていて、いつもとは違う何かピリピリとした緊張感が肌に伝わってくるような感じがした。

大会は、ダウンヒルより晴天のもと始まった。男子は、一昨年より鍋島(ブリヂストン)が2回連続でタイトルを手中にし、三連覇を狙っていた。しかし、その他の有力な選手もタイトルを虎視眈々と狙っており、予断を許さない状況を作り出していた。予選では、丸山(SCOTT,p)が2位の竹本(ANCOR)にコンマゼロ1秒差でトップを叩き出したが、他の選手も充分トップを狙える位置につけていた。決勝では、選手がゴールするたびに記録が塗り替えられると言う素晴らしいレースとなった上に、観客もゲレンデで大いに盛り上がり、会場が一体となって新世紀のチャンピオンの誕生を待った。そして、並み居る強豪を抑えて、鍋島が全日本選手権三連覇を達成した。

女子は熾烈な女王をめぐる戦いの主役の一人である、増田(MX/HARO)を欠くレースになってしまったが、タイトルホルダーの末政(Team GT)、最近好調の池田(Fun Fancy)などが出場し、男子と同じコースを使用して行なわれた。予選では、だんかつの強さの末政トップだったが、決勝では猪俣(FOES CREDIT)があと少しまで詰めていったが、結局末政に二連覇を許す形になってしまった。

翌日行なわれたクロスカントリーは、前日の夜半より降り出した雨に気をもんだが朝方には、嘘のような天気となり太陽までがこれから始まる熱い戦いを楽しみにしているようだった。コースは、これまでJシリーズで使用され完成度が高い上、全日本用により良く設計されたので、レースの展開が本部付近より手に取るように解り観客も大興奮だった。

まず女子は、女王、南部(TREK JAPAN)をいかにして他の選手達で抑えていくかが鍵になるのだが、逆に南部にとってみれば、「勝ってあたりまえ」と言う強烈なプレッシャーのなか走り続けなければならなかった。レースは

6.3kmのコースを5周で争われ、予想通りに南部の2分後を中込(SY-Nak)が一人追いかけて、その10分後に三人の選手が追う展開になり南部の強さと女子選手の強化の必要性を感じた。

さて男子の方といえは今は、戦国時代で群雄割拠でレースのたび新

しいヒーローが生まれるのだが、中でも鈴木(ブリヂストン)が少し抜き出ている、今回も鈴木を軸にレースが展開されると思われた。レースは、同じく6.3kmを7周で争われ序盤は20人ぐらいがトップ集団を形成して早いテンポで進んだ、その集団の中には、もちろん鈴木、スランプ脱出の山口(CWS)、タイトルホルダーの竹谷(SPECIALIZED)、昨年のアジアチャンピオン宇田川(ブリヂストン)、新人類後藤(GIANT JAPAN)、精神的に強くなった戸津井(スコット・パナレーサー)そしてあの三浦が含まれていた。レース中盤トップ集団では、激しいサバイバルが繰り広げられ、見るものを魅了しつつづつ7人まで絞られた。そして最終周ベルを受けたトップ集団は、一番きつい登りでアタックをかけて、次ぎに私達の目に最初に飛び込んできたのは、ほんの少しのリードで先頭を快走する山口であった。しかしその後からは竹谷が荒い息が聞こえそうな勢いで追って行き、また見えなくなる!。あと3km……ゴール前の草原のストレートに見えた時は、もう優勝を自分の手中におさめ



た山口の姿であった。

私はバイクチェックのためゴール地点にいたのですが、山口のあの嬉しそうな顔は、心に残りました。

全体的にとても素晴らしい大会で、これも大会の主役を立派に務めた選手の皆さん。また、成功に導いてくださった大会関係者の各々にお礼申し上げます。(中西 裕幸)

[競技結果]

DH男子エリート(2.2km)

- 1 鍋島 健一 福岡 ブリヂストン 2:56.82
- 2 竹本 将史 埼玉 ANCOR 2:57.34
- 3 内嶋 亮 東京 A&F SANTA 2:57.92
- 4 安達 靖 大阪 Team TMX 2:58.67
- 5 塚本 岳 埼玉 MX,MONGOOS 2:58.83
- 6 丸山 弘起 長野 SCOTT,p 2:59.03
- 7 笠川雄一郎 福井 MX/HARO 2:59.82
- 8 高橋 唯之 福島 MX/SPEED 3:00.47
- 9 今田 大三 愛知 MPR 3:00.62
- 10 岩瀬 信彦 神奈川 Team GT J. 3:00.65

DH女子エリート(2.2km)

- 1 末政 実緒 兵庫 GT Japan 3:15.77
- 2 猪俣 浩子 神奈川 FOES CREDIT 3:21.16
- 3 池田 恭子 東京 FunFancy 3:29.07
- 4 藤中 治子 京都 KUWAHARA 3:32.50
- 5 久保 行子 東京 3:34.26
- 6 鴨下 美穂 神奈川 DD BIKES 3:36.82
- 7 杉山 美佐 静岡 DD BIKES 3:38.34
- 8 加治やえみ 東京 Bumpy PRIDE 3:39.17
- 9 松田 恵美 東京 MX/MONG 3:44.64
- 10 久家 麻紀 岐阜 DD BIKES 3:51.83

DH男子エキスパート(2.2km)

- 1 青柳修一郎 東京 SPECIALIZED 3:10.26
- 2 中野 賢二 長野 CLUB SPORS 3:10.67
- 3 安藤 功治 北海道 7'レザリ 3:11.89
- 4 田原 和馬 愛知 MOVE R. 3:13.81
- 5 辻中 宏充 兵庫 D-ルアトレジグ 3:14.17
- 6 千原 裕輝 長野 アパ WORKS 3:15.87
- 7 渡辺 濃 神奈川 ISOYA R. 3:17.20
- 8 小西 基且 徳島 30'レース 3:17.24
- 9 志民 義成 愛知 44 3:17.59
- 10 松永 貴敏 大阪 MM&tm 3:18.34

DH男子ジュニア(2.2km)

- 1 阿藤 寛 大阪 一条AVstore 3:15.54
- 2 小倉 教之 大分 PRO10-spirit 3:17.33



DH男子エリート優勝の鍋島

- 3 波多野真弘 愛知 NO CHIC 3:17.96
- 4 藤村 浩臣 山口 Rabbit Stree 3:21.29
- 5 田井 一雄 岡山 チムウエイブ 3:23.38
- 6 小泉 昇 兵庫 下剋上ウチ 3:23.74
- 7 藤岡 亮三 愛知 RYO3 R. 3:24.62
- 8 甲斐 武 大分 ロボレーシング 3:25.42
- 9 神戸 智 兵庫 ロールアウトなめ 3:25.53
- 10 津国 雅隆 兵庫 下剋上 3:25.57

DH女子ｽｰｯ (2.2km)

- 1 佐藤由布子 神奈川 SY-Nak 3:47.48
- 2 黒川 純子 岐阜 TOMOS RF 3:48.15
- 3 大松 幸代 福岡 ダートエイブアトル 4:03.44
- 4 東 美穂 東京 4:07.62
- 5 河井 和美 愛知 リルト 4:21.84

XC男子ﾘｰﾄ (44.1km)

- 1 山口 孝徳 長野 CWS 2:06:41.64
- 2 竹谷 賢二 千葉 SPECIALIZED 2:07:01.37
- 3 色川 浩樹 福島 GIANT J. 2:07:15.88
- 4 宇田川聡仁 長野 プリズン 2:08:11.71
- 5 松本 駿 長野 GT Japan 2:12:29.75
- 6 小平 幸永 長野 スコレーシング 2:12:34.59
- 7 後藤 清作 長野 GIANT J. 2:13:39.47
- 8 深谷 幸彦 愛知 NEWS 2:14:17.54
- 9 戸津井俊介 埼玉 スコトパナ 2:14:49.19
- 10 宮本 光司 茨城 SCHWINN 2:15:06.90

XC女子ﾘｰﾄ (31.5km)

- 1 南部 博子 長野 TREK J. 1:45:42.47
- 2 中込由香里 長野 SY-Nak 1:48:22.30
- 3 中口 裕代 長野 846 SCH. 1:57:54.97
- 4 酒井 真清 大阪 ガチャピン 2:00:17.66
- 5 田中 裕子 長野 BRIKO 2:00:56.79
- 6 佐藤由布子 神奈川 team SY-Nak -1LAP
- 7 窪田 二葉 長野 TEAM A&F -1LAP
- 8 深井 薫 大阪 FUN RIDE -2LAPS
- 9 大上美夕紀 愛媛 走れ馬鹿犬 -2LAPS
- 10 中西 聖子 愛知 SY-Nak -3LAPS

XC男子ｽｰｯ (31.5km)

- 1 千田 尚孝 愛知 自転車村 1:39:18.58
- 2 市川 哲也 広島 RTビルド 1:40:23.30
- 3 國末 明 山口 シノネクス 1:41:18.16
- 4 柴田 幸治 神奈川 A&F 1:43:51.60
- 5 那須 宏幸 大阪 SKY.RC 1:44:04.04
- 6 元島 武文 長野 サウマインド 1:44:09.42
- 7 佐藤あきら 愛知 コメカ 1:44:29.91
- 8 山本 幸平 北海道 KBC がが 1:45:41.84
- 9 竹之内脩平 京都 パナニック 1:45:52.47
- 10 小林 聖 長野 スコレーシング 1:46:06.14

XC男子ｽｰｯ (18.9km)

- 1 笹井 秀治 京都 Foobarnewor 1:00:26.18
- 2 大音 雅裕 大阪 Bumps 1:00:40.86
- 3 酒井 孝典 大阪 ガチャピン 1:02:01.79
- 4 酒井 紀章 福井 BALBA-F. 1:02:05.09
- 5 畦地 利哉 岐阜 VeLo 1:03:19.34
- 6 山本 鉄矢 京都 1:03:26.12
- 7 渡部 忍 宮崎 ホダック 1:03:46.05
- 8 北津留 翼 福岡 Q MAX B. 1:04:05.01
- 9 渡邊 真也 愛媛 焼島山鳥 1:04:41.38
- 10 國延 和弘 広島 マウンテン 1:04:46.16

XC女子ｽｰｯ (12.6km)

- 1 内田 順子 東京 55:01.85
- 2 寺山今日子 大阪 FUN RIDE 55:46.62
- 3 松山 晶子 福井 BALBA-F. 1:00:57.89
- 4 石橋 直美 福岡 MASAYA 1:08:06.26

2001 ツール・ド・北海道国際大会



TOUR DE HOKKAIDO 2001

2001.9.12~9.18

1987年、わが国初の本格的ステージレースとして誕生した「ツール・ド・北海道」も通算15回目を迎えた。2000年にUCI(国際自転車競技連合)公認カテゴリ-2-5へランクアップ、UCIランキングポイントの付加された大会として海外から注目される競技会へと成長した。

2001年大会は函館でのプロローグを皮切りに、札幌でのクリテリウムまでの史上最長の816km。登別~札幌の第5ステージで札幌の展望台・藻岩山頂でフィニッシュするなど変化に富んだコースが設定され見応え十分。出場20

チームのうち海外からは5チーム(アイルランド・大韓民国・カナダ・オランダ・ドイツ)が出場した。各ステージの結果は以下の通り、日本人選手では第6ステージで鈴木真理(シマノ)がステージ優勝をはたした。個人総合優勝は、圧倒的な強さを見せたデヴィッド・マッキン(アイルランド)、2位に狩野智也(シマノ)、3位にポール・グリフィン(アイルランド)。団体総合優勝は、アイルランド、2位シマノ、3位愛三工業。

テレビ放送予定

特別番組 NHK総合TV
10月14日(日曜日)17時05分より





[競技結果]

個人総合時間

1	マッキンデヴィッド アイルランド	21:19:38
2	狩野 智也 シュルレーン	21:21:21
3	グリフィンポール アイルランド	21:21:44
4	リアティエパトリック アイルランド	21:22:10
5	ヴァンゲルツェンシ カダ	21:22:26
6	鈴木 真理 シュルレーン	21:22:33
7	田中 光輝 愛三工業	21:22:59
8	福島 晋一 プリヂンストン	21:22:59
9	テリックミエル 日本舗道	21:24:05
10	田代 恭崇 プリヂンストン	21:24:18

団体総合時間

1	アイルランド	64:04:11
2	シュルレーン	64:08:55
3	愛三工業	64:16:00
4	カン・マルイ	64:41:29
5	プリヂンストン	64:42:19
6	日本舗道	64:43:35
7	オランダ	64:58:15
8	ミタハ 和	65:07:43
9	日本大学	65:07:57
10	カダ	65:24:57

個人総合ポイント賞

1	マッキンデヴィッド アイルランド	101 p
2	グリフィンポール アイルランド	99 p
3	鈴木 真理 シュルレーン	86 p

個人総合山岳賞

1	グリフィンポール アイルランド	28 p
2	マッキンデヴィッド アイルランド	25 p
3	福島 晋一 プリヂンストン	22 p

ブロンズ成績

1	ブレメマルコ ドイツ	2:00.73
2	ヴァンゲルツェンシ カダ	2:00.98
3	岡崎 和也 カン・マルイ	2:01.05
4	スキロンマーク アイルランド	2:01.38
5	広瀬 敏 日本舗道	2:01.49
6	ケルケイ ドイツ	2:01.56
7	ライブラッドリーグン チェコ	2:01.87
8	藤野 智一 プリヂンストン	2:01.96
9	坂口 博 愛三工業	2:02.11
10	西谷 泰治 日本大学	2:02.28

第1ステージ 個人区間順位

1	マッキンデヴィッド アイルランド	4:40:30
2	鈴木 真理 シュルレーン	4:41:37
3	イヴァンストマス アイルランド	4:41:37
4	グリフィンポール アイルランド	4:41:38
5	広瀬 敏 日本舗道	4:41:41
6	ヴァンゲルツェンシ カダ	4:41:43
7	福島 晋一 プリヂンストン	4:41:43
8	ルーマレムコ オランダ	4:41:43
9	孫 振哲 韓国	4:41:43
10	金 哲珉 韓国	4:41:43

第2ステージ 個人区間順位

1	グリフィンポール アイルランド	4:50:49
2	福島 晋一 プリヂンストン	4:50:49
3	ケルケイ ドイツ	4:51:00
4	鈴木 真理 シュルレーン	4:51:00
5	ヴァンゲルツェンシ カダ	4:51:00
6	西 泰治 日本大学	4:51:00
7	鈴木 新史 愛三工業	4:51:00
8	テリックミエル 日本舗道	4:51:00
9	岩本竜太郎 京都産業大学	4:51:00
10	田代 恭崇 プリヂンストン	4:51:00

第3ステージ 個人区間順位

1	マッキンデヴィッド アイルランド	1:45:56
---	------------------	---------

2	グリフィンポール アイルランド	1:45:58
3	福島 晋一 プリヂンストン	1:45:58
4	山本 泰裕 シュルレーン	1:45:58
5	リアティエパトリック アイルランド	1:45:58
6	鈴木 真理 シュルレーン	1:46:00
7	田中 光輝 愛三工業	1:46:00
8	狩野 智也 シュルレーン	1:46:00
9	テリックミエル 日本舗道	1:46:00
10	田代 恭崇 プリヂンストン	1:46:00

第4ステージ 個人区間順位

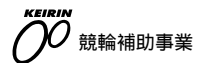
1	ヴァンゲルツェンシ カダ	4:20:27
2	グリフィンポール アイルランド	4:20:27
3	金 哲珉 韓国	4:20:27
4	水谷 壮宏 日本舗道	4:20:27
5	鈴木 真理 シュルレーン	4:20:27
6	三浦 恭資 カン・マルイ	4:20:27
7	マッキンデヴィッド アイルランド	4:20:27
8	野口 忍 カン・マルイ	4:20:27
9	ヴァンゲルツェンシ カダ	4:20:27
10	ライブラッドリーグン チェコ	4:20:27

第5ステージ 個人区間順位

1	マッキンデヴィッド アイルランド	4:21:38
2	狩野 智也 シュルレーン	4:21:41
3	ケルケイ ドイツ	4:22:08
4	テリックミエル 日本舗道	4:22:13
5	リアティエパトリック アイルランド	4:22:18
6	福島 晋一 プリヂンストン	4:22:21
7	グリフィンポール アイルランド	4:22:30
8	山本 泰裕 シュルレーン	4:22:35
9	ヴァンゲルツェンシ カダ	4:22:39
10	ヴァンゲルツェンシ カダ	4:23:02

第6ステージ 個人区間順位

1	鈴木 真理 シュルレーン	1:18:35
2	ハミンク デニス オランダ	1:18:35
3	広瀬 敏 日本舗道	1:18:35
4	水谷 壮宏 日本舗道	1:18:35
5	福島 晋一 プリヂンストン	1:18:35
6	グリフィンポール アイルランド	1:18:35
7	マッキンデヴィッド アイルランド	1:18:35
8	ヴァンゲルツェンシ カダ	1:18:35
9	岡崎 和也 カン・マルイ	1:18:35
10	西谷 泰治 日本大学	1:18:35



TITANIUM Technology

より高度な剛性バランスを追求して、Tiコブラシェイプ、さらに進化。

比重は鉄の約1/2、強度もアルミ・鉄を圧倒し、弾性にも優れるチタン。この理想の素材特性をフルに活かして開発したのが、Tiコブラシェイプだ。ヘッド側を縦格円に、BB側を横格円に形成。さらにティアドロップ断面とトリプルバテッド加工を採用することで、軽さ・衝撃吸収性・高剛性を徹底追求した。そして今シーズンは、ヘッド回りの剛性を高める“ゼロスタック”ヘッドシステムを採用。縦横の剛性をいっそう高次元でバランスさせ、よりニアな操縦性を実現した。



Panasonic

TiCOBRASHAPE
TITANIUM SUPER CROSS OVAL
TRIPLE BUTTED DOWN TUBE



OCT 06 7.9kg 写真の商品はOCT 06 D
WEIGHT OCT 06D 530SIZE チューブ、ノーマルホイール仕様

355,000円〜(税別)
※パーツ・カラー選択により価格は異なります。
フレーム単体販売

FCT 06
基本標準価格(税別) 170,000円〜
WEIGHT 1.9kg (フレーム・フォーク・ヘッド・ハンドル530サイズ)

<http://www.panabyc.co.jp>

パナソニック・オーダーシステムカタログをご希望の方は、200円切手を同封の上、下記まで
松下電器産業株式会社 自転車事業部 〒582-8501 大阪府柏原市片山町13-13 TEL.0729-77-1601



第36回全国都道府県対抗自転車競技大会

(第57回国民体育大会自転車競技リハーサル大会)



ロード成年男子のフィニッシュ

8月25日(土)~8月28日(日)の4日間にわたり、四国の水瓶といわれる早明浦ダム周辺4町村でのロードレース、築城400年を迎える高知城のお膝元、総工費173億円をかけたりょうまスタジアムでのトラックレースと熱戦が繰り広げられた。

ロードレース

今大会から、男子が成年、少年男子に分かれ、女子を含めた3つのカテゴリで実施された。

成年男子は、実力伯仲で吾北分岐点(104.55km)でも24名の集団で通過しそのままのゴールスプリントとなり郡山善貴(愛知)が1位、西村拓也(京都)中川康二朗(茨城)が2位、3位となった。

少年男子は、全員が別府史之(神奈川)をマークし、誰一人挑戦するものもなく極端なスローペースとなり、成年男子とのタイムに大差が生じ、コースを一部変更する結果となった。レースは、別府、池田丈志(奈良)2名でゴールスプリントとなり別府史之が1位となった。

女子は、森本朱美(鳥取)、唐見実世子(石川)、小野山恵美(愛媛)の逃げが決まり、その後、森本朱美が2位に3分の大差をつけてのゴールとなった。

スプリント

1回戦から上位タイム者が勝ち上がる展開で、1/4決勝以後も3回戦に進むことなく石橋慎太郎(静岡)があぶなげない勝ち方で第1位となった。

1kmタイムトライアル

成年男子は、岡本大嗣(愛媛)が1分7秒374で第1位、1分10秒を切るのが4名とやや低調であった。

少年男子は、最終組に登場した田中博之(富山)が1分7秒277、臼井昌巨(岐阜)が1分7秒849を出し面目を保った。

500mタイムトライアル

500mバンクでちょうど一周回のトライアルとなる。この種目の第一人者太刀川麻也(茨城)が唯一の37秒台(37秒826)と、大会新に1/1000秒及ばなかったが好タイムで第1位。遠藤友子(大分)も38秒357の好タイムで2位に入った。

オリンピックスプリント

初めての500バンクの大会でペース配分が難しいなか、埼玉県は予選4位からの逆転で堂々の1位。岡山県は吉田康則を中心に練習の成果を見せて第2位。



団体追抜1位の高知チーム

4km団体追抜競走

決勝戦は高知県、香川県の四国同士の対決。地元開催の高知県は夢に見た優勝を達成し8点を獲得、総合3位入賞に大きく貢献した。

ポイントレース

成年男子はエントリー方法の変更で、14名の出場となり迫力に欠けるレース展開となった。その中でさすが貫録者・吉井功治(東京)は、実力を見せ大差の第1位となった。

ニュートラルから復帰する吉井



少年男子は、JOCカップ受賞の高島豪(埼玉)、ロードチャンピオンの別府、小岩大介(大分)の三つ巴と思われたが高島のDNFにより、別府、小岩のマッチレースとなり、最終ダブル得点6点を獲得した別府が逆転の第1位となった。

女子は、スプリンター太刀川と長距離を得意とする森本のマッチレースとなり、森本が終始リードしていたが最終得点で太刀川が2位6点を獲得し、森本は4位の2点で太刀川が3点の逆転で第1位となった。

総合成績は、別府史之の少年ロード



レース1位、少年ポイントレース1位の活躍により神奈川県が第1位となり、また高知県は団体追抜1位で総合第3位と大健闘であった。

女子は太刀川麻也の500mタイムトライアル1位、女子ポイントレース1位の活躍で茨城県が第1位となった。

(中西 泰三)

[競技結果]

成年男子個人ロードレース (129.2km)

- 1 郡山 善貴 岐阜 愛三工業 3:12:13.434
- 2 西村 拓也 京都 長岡京市 3:12:13.531
- 3 中川康二郎 茨城 バイパス 3:12:13.625
- 4 西山 知宏 福井 羽水高教 3:12:13.661
- 5 高橋 祐介 栃木 アールス 3:12:13.903
- 6 山本 雅道 神奈川 シノ 3:12:14.046
- 7 秋田 謙 愛知 愛三工業 3:12:14.155
- 8 田中 光輝 愛知 愛三工業 3:12:14.232
- 9 森 正和 静岡 3:12:14.315
- 10 行成 秀人 香川 宮田工業 3:12:14.325

少年男子個人ロードレース (129.2km)

- 1 別府 史之 神奈川 藤沢北高 3:30:15.403
- 2 池田 丈志 奈良 北大和高 3:30:15.509
- 3 中島 康晴 福井 科学技高 3:30:17.623
- 4 桧原 稔明 奈良 北大和高 3:30:27.295
- 5 井上 貴志 福岡 久工大付 3:31:56.477
- 6 白浜 慶一 広島 国際学院 3:31:56.488
- 7 廣瀬 勝光 群馬 前橋工高 3:31:56.497
- 8 村上 純平 山形 山形電波 3:31:57.068
- 9 松下 善紀 広島 国際学院 3:31:57.505
- 10 安里 勝徳 沖縄 北中城高 3:31:58.796

女子個人ロードレース (89.2km)

- 1 森本 朱美 鳥取 若桜中教 2:32:47.424
- 2 唐見実世子 石川 カリズ 2:35:38.910
- 3 小野山恵美 愛媛 CSカマリ 2:36:39.742
- 4 安里あゆみ 沖縄 北中城高 2:46:14.092
- 5 小野 翔子 栃木 作新学院 2:46:14.895
- 6 川添 綾子 高知 関西大学 2:46:15.290
- 7 前川 康子 奈良 北大和高 2:46:18.760
- 8 谷村祐美子 奈良 北大和高 2:48:35.328
- 9 永田 萌子 大分 別府商高 2:50:22.789
- 10 宮崎 杏菜 大分 別府商高 2:58:53.689

男子成年1kmタイムトライアル

- 1 岡本 大嗣 愛媛 自営 1:07.347
- 2 在本 直樹 岡山 玉野SC 1:08.084
- 3 矢野 賢児 高知 中四競技会 1:09.236
- 4 鈴木 英介 静岡 1:09.750
- 5 井上 雄三 埼玉 イケイレシガ 1:10.161
- 6 安藤 武史 神奈川 平塚市役所 1:10.443

男子少年1kmタイムトライアル

- 1 中田 博之 富山 氷見高校 1:07.277
- 2 白井 昌巨 岐阜 岐南工業高 1:07.849
- 3 西村 行貴 熊本 開新高校 1:09.132
- 4 白水 旬 福岡 久工大付属 1:09.711
- 5 関 智晴 新潟 吉田商業高 1:10.389
- 6 鷲田 佳史 福井 北陸高校 1:10.562

男子ロードレース

- 1 石橋慎太郎 静岡
- 2 青木 亮太 群馬 前橋工業高校
- 3 藤田 竜矢 埼玉 自営
- 4 湯原 正行 長野 サイクルインド
- 5 塩原 正長 広島 けや乳業
- 6 大崎飛雄馬 愛媛 自営

男子成年ポイントレース (30km)

- 1 吉井 功治 東京 日本舗道 50 p
- 2 楠本 正昭 愛知 愛三工業 (-1) 27 p
- 3 岡部 英人 富山 高岡養護校 (-1) 16 p

- 4 大内 薫 大阪 シノ (-1) 16 p
- 5 堀内 武仁 山梨 日本大学 (-1) 13 p
- 6 武藤 大輔 高知 中央郵便局 (-1) 13 p

男子少年ポイントレース (24km)

- 1 別府 史之 神奈川 藤沢北高校 26 p
- 2 小岩 大介 大分 日出陽谷高校 25 p
- 3 廣瀬 勝光 群馬 前橋工業高校 12 p
- 4 隅田 幸助 広島 広島国際学院高 11 p
- 5 柴田 祐也 岐阜 岐南工業高校 10 p
- 6 片山 智晴 岡山 岡山工業高校 10 p

男子4km団体追抜

- 1 高知 矢野・武藤・阿部・篠原 4:37.823
- 2 香川 長尾・行成・長池・楨塚 4:39.904
- 3 岐阜 白井・柴田・郡山・吉田 4:43.900
- 4 兵庫 浦門・福本・日置・池田直 4:44.302
- 5 福井 鷲田・中島・山出・井原 4:48.398
- 6 広島 徳山・隅田・白浜・池田良 4:51.102

男子ポイントレース

- 1 崎 玉 井上・藤田・高島 1:39.433
- 2 岡 山 在本・吉田・柏野 1:40.328
- 3 愛 媛 岡本・大崎・片岡 1:39.631
- 4 神奈川 安藤・別府・善波 1:43.156
- 5 京 都 島田・奥平・辻 1:43.100
- 6 和歌山 前田・椎木尾・松村 1:43.582

女子500mタイムトライアル

- 1 太刀川麻也 茨城 M Project 37.826
- 2 遠藤 友子 大分 別府商業高 38.357
- 3 大森 恵 北海道 函館大谷高 38.753
- 4 中尾 友美 奈良 筑波大学 38.851
- 5 篠崎 新純 千葉 千葉経大付属 39.032
- 6 空位

女子ポイントレース

- 1 太刀川麻也 茨城 M Project 22 p
- 2 森本 朱美 鳥取 若桜中学校・教 19 p
- 3 松永 舞美 香川 高松工芸高校 18 p
- 4 唐見実世子 石川 カリズ サイクル 10 p
- 5 遠藤 友子 大分 別府商業高校 9 p
- 6 安里あゆみ 沖縄 北中城高校 7 p

男子総合成績

- 1 神奈川 27 p 2 岐阜 25 p 3 高知 19 p

女子総合成績

- 1 茨城 16 p 2 鳥取 16 p 3 石川 12 p

KEIRIN 競輪補助事業



ロード少年男子のフィニッシュ

第32回全日本実業団自転車選手権 <経済産業大臣旗> 第35回全日本実業団対抗サイクルロードレース



第32回全日本実業団自転車競技大会(トラック)が8月31日～9月1日、石川県立内灘自転車競技場、第35回記念大会となる経済産業大臣旗争奪「第35回全日本実業団対抗サイクルロードレース大会」が9月2日、石川森林公園(1周6.8km)で行われた。特に今回は長い伝統を持つ「通商産業大臣旗」から「経済産業大臣旗」に生まれ変わる記念すべき第1回目の大会として注目が集まった。

第1日目唯一の決勝種目、男子ポイントでは序盤、愛三工業の3選手が交互にポイントを重ね主導権を握ったが、飯島誠(ラバネロ)が終盤14回目に5点を獲得し、ゴールのWポイントを残し楠本正昭(愛三)24点、吉井功治(日本舗道)、飯島の両選手が18点と3人の選手に優勝の可能性が残された接戦となる。飯島か吉井が10点を取っても楠本が2位6点以上を獲得すれば優勝という場面で、海外遠征で体調を崩していた飯島だが、作戦どおりゴール1着



の10点を獲得、楠本は3位の4点に終わり、28点の同点。1着回数、2着回数とも同一のため、最終回ゴール着順により飯島の劇的な逆転優勝となった。2日目は愛三工業の活躍が目立ち、団体追抜、個人追抜、エリミネーション、マディソンの4種目を坂口、楠本らの活躍で制し、主役となった。特に個人追抜決勝の坂口博は東日本大会から自己新を連発する行成秀人(ミヤタ)を最終回27秒台のLAPで逆転し、4分48秒台の好タイムで優勝した。1kmTTでは西

日本大会で1分05秒564の実業団記録を出した在本直樹(三菱物流)に期待がかかったが、記録には及ばず6秒台のタイムに終わったものの3年ぶりにこの種目優勝者となった。ケイリンは最終2コーナーで2番手をキープした塩原正長(チチヤス)が絶好の展開に持ち込み、全日本実業団で初優勝をこの種目で遂げた。

女子では「年々強くなる」杉村久美(ラバネロ)が個人追抜、ポイントで圧勝し、2冠となった。



ロードレースは金沢森林公園において行われた。9時20分にBR-2と女子エリート(68km)、4分遅れでBR-3と女子オープン(34km)がスタートした。両カテゴリーとも厳しいコースに、集団からこぼれ落ちる選手が周を追うごとに増え、BR-3では小平幸永(スワコ)、女子オープンには楠理沙(スポーツピーノ)が後続をタイムアウトさせ優勝した。

BR-2は積極的な試合運びで6周目から先頭を守り続けた谷口順(KOCHI CTC)が11分30秒前後の平均したLAPを刻み優勝。女子エリートではBR-2第2集団の前方で男子に負けない走りを見せた唐見(バイクシステム)が他の選手を全員タイムアウトにして圧勝した。

11時45分スタートの経済産業大臣旗をかけたBR-1(136km)は25、晴れという一見、快適な気象条件の中で始まった。しかし、アップダウンが激しくトリッキーなコースは徐々に強くなる日差しの中で選手達を苦しめた。

スタート早々1周目からふるいをか

けるようにペースが上がリ、10分前半のタイムを刻むと、優勝候補の飯島誠、田中光輝、岡崎和也などを含む多くの選手が早々に集団から遅れはじめる波乱の展開となった。序盤はアタックの繰り返しがあり、8周目から約5周回ムニョス(リジダビアンキ)の単独逃げがあり、一時は後続集団に1分以上の差をつけ独走態勢に入った。この逃げをつぶすように各チームの有力選手が十数名の集団でエスケープに成功し、13周目には36秒の差を一気に詰め、独走態勢にストップをかけた。この時点で、先頭は7人、第2集団は5人、第3集団は5分遅れで30人弱の大きく3つに分解され、走行中の選手はスタート時の約1/3になっていた。注目の団体はブリヂストンアンカー、愛三工業、日本舗道が3人以上を第2集団までに残し、5分遅れの第3集団以下はこの時点では8分のタイムアウトが確実と見られた。その後トップ集団のペースは11分中盤に落ち着き、ムニョス、田代、



橋川、(ブリヂストン) テテック(日本舗道) 新保光起(愛三) 等に、第2集団の広瀬敏(日本舗道) 岡田哲也(ブリヂストン)の地元出身選手、行成(ミヤタスバル)等は一時、1分に差を詰めたものの最終的に先頭グループに届くことはなかった。5人はそのまま最終回に突入し、最後の上り坂で死力を尽くしたアタックの掛け合いが始まった。ゴール勝負は終始このレースをコントロールしたムニョスが新保の追撃をかわして制した。ムニョスの強さが光ったレースであった。

1チーム3位までの選手で争われる団体の「経済産業大臣旗」は活動拠点を海外に置き活動するチームブリヂストンアンカーが、出走選手5人全員20位以内で完走する好調ぶりを示し、4位橋川、5位田代、7位岡田の16点で圧勝し獲得したが、第2位、3位は選手全員がゴールするまで判明しない激戦となった。(完走者35名) (土山 弘)

[競技結果]

男子1kmタイムトライアル

1	在本 直樹	三菱化学物流 R	1:06.492
2	岡本 大嗣	イクップ ユーレーシング	1:07.881
3	岩本 和也	パイクシステムテラント	1:08.689
4	坂本 信也	チームフェア	1:09.297
5	柏野 智典	三菱化学物流 R	1:09.785
6	木村 圭吾	パイクシステム '90	1:09.843

男子スプリント

1	大崎飛雄馬	イクップ ユーレーシング
2	奥平 充男	岩井商会サイクルクラブ
3	湯原 正行	クラブ サイクルズイット
4	塩原 正長	チヤス乳業レーシング
5	柏野 智典	三菱化学物流 R
6	飯田 威文	チームフェア

男子4km個人追抜

1	坂口 博	愛三レーシング	4:48.34
2	行成 秀人	ミヤタスバル R	4:50.63
3	岡崎 和也	村ノルイ	4:53.31
4	工藤 紀夫	HARレーシング	4:56.85
5	吉井 功治	IVY-CLUB日本舗道	4:56.98
6	高橋 仁	チームフェア	4:59.10

男子エリミネーション

1	楠本 正昭	愛三レーシング
2	後閑 俊秀	HARレーシング
3	宮沢 崇史	日本舗道レーシング
4	郡山 雅仁	HARレーシング
5	中田 尚志	岩井商会サイクルクラブ
6	善波 昭	チームアトラク

男子ケリソ

1	塩原 正長	チヤス乳業レーシング
2	松本 陽介	HARレーシング
3	仲松 勝太	パイクシステム '90
4	石丸 健次	BMLレーシング ZUNOW
5	朝倉 佳弘	パイクシステム '90
6	高橋 仁	チヤス乳業レーシング

男子30km個人タイムトライアル

1	飯島 誠	ミタバ 和Pi	28 p
2	楠本 正昭	愛三レーシング	28 p
3	吉井 功治	IVY-CLUB日本舗道	18 p
4	大内 薫	スバルレーシング	16 p
5	岡部 英人	チュウリップレーシング	15 p
6	有賀 義文	みさかレーシング	11 p

男子マテイン(20km)

1	愛三レーシング A	坂口・楠本	25 p
2	チームフェア B	高橋仁・高橋栄	13 p
3	日本舗道レーシング	吉井・宮沢	11 p
4	チームフェア A	高橋秀・坂本	10 p
5	カガワFET	小林・藤田	7 p
6	ミタバ 和Pi	飯島・水沢	

男子リリックススプリント

1	三菱化学物	吉田・在本・柏野	1:18.620
2	HARレーシング	山下・松本・後閑	1:20.880
3	チームフェア	飯田・鷹木・中塚	1:21.490
4	パイクシステム '90	朝倉・木村・仲松	1:21.940
5	サイクルクラブ FET	渋谷・篠原・三宅	1:24.480
6	BMLレーシング Z	山崎・小峰・藤橋	1:24.970

男子4km団体追抜

1	愛三レーシング	秋田・郡山・坂口・秋田	4:38:33
2	HARレーシング	工藤・郡山・鬼形・松本	4:39:43
3	チームフェア	高橋・坂本・高橋・アトラク	4:40:94
4	カガワFET	西村・小林・藤田・櫻脇	4:52:13
5	みさかレーシング	菅原・有賀・蓮見・福原	4:54:06
6	BMLレーシング Z	大山・石丸・山崎・小峰	5:02:64

女子500mタイムトライアル

1	大森 恵	函館大谷高等学校	38.953
2	小野山恵美	イクップ ユー-R	41.241
3	村中恵美子	千葉医療福祉専門	42.852
4	小谷 翠	NCFR	43.725

女子3km個人追抜競走

1	杉村 久美	ミタバ 和Pi	4:07.170
2	村中恵美子	千葉医療福祉専門	4:11.790
3	小野山恵美	イクップ ユー-R	4:21.930

女子ポイントレース

1	杉村 久美	ミタバ 和Pi	28 p
2	唐見実世子	パイクシステムテラント	15 p
3	小野山恵美	イクップ ユー-R	13 p
4	松永 舞美	高松工芸高校	6 p
5	小谷 翠	NCFR	(-1) 4 p

BR-1個人ロードレース(136.0km)

1	Guillen Munos	スペイン リンダ ビアンキ	3:40:04
2	新保 光起	JPCA 愛三工業R.	3:40:07
3	TETERYK Mikhail	KAZ 日本舗道R.	3:40:08
4	田代 恭崇	JPCA プリザ スト	3:40:11
5	橋川 健	JPCA プリザ スト	3:40:18
6	中川康二郎	茨城 パイクシステム	3:41:42
7	岡田 哲也	JPCA プリザ スト	3:41:45
8	廣瀬 敏	石川 日本舗道	3:41:47
9	森 正和	静岡 ミヤタスバル	3:41:50
10	鈴木 真理	JPCA スノレーシング	3:41:53

BR-2個人ロードレース(68.0km)

1	谷口 順	高知 KOCHI CTC	1:53:06
2	赤坂 和昭	東京 ミタバ 和Pi	1:53:36
3	藤原 隆	岡山 三菱化学物流	1:54:02
4	山崎 卓巳	静岡 SPADE・ACE1	1:54:06
5	瀧美 守弘	静岡 SPADE・ACE1	1:54:06
6	中田 真琴	北海道 GS. NOKO	1:54:06
7	田中雄一郎	神奈川 日本舗道R.	1:54:06
8	富永 圭多	福岡 村ノルイ	1:54:06
9	渡辺 洋一	新潟 THANKS・00	1:54:06
10	杉村 宗弘	長野 日本アイト	1:54:06

BR-3個人ロードレース(34.0km)

1	小平 幸永	長野 スノレーシング	55:47
2	田端 伸行	東京 スポルティブ	
3	郡山 雅仁	宮城 HARPレーシング	
4	野中 真吾	神奈川 チーム リマックス	
5	片岡 道和	兵庫 CLUB ANGLE	
6	藤岡 崇志	山口 CCM-ALL WAYS	

女子ロード個人ロードレース(68.0km)

1	唐見実世子	石川 パイクシステム	1:58:55
---	-------	------------	---------

女子オープン個人ロードレース(34.0km)

1	楠木 理沙	東京 スポルティブ	1:05:14
---	-------	-----------	---------

ロードレースチーム団体成績

1	チームプリザ ストアンカー	16 p
2	日本舗道レーシング	25 p
3	愛三工業レーシング	39 p
4	スノレーシング	40 p
5	ミヤタスバルレーシング	41 p
6	ミタバ 和Pi	78 p

<文部科学大臣杯> 第57回全日本大学対抗選手権(インカレ)



2001年の全日本大学対抗(通称インカレ)は8月30日から4日間、山形県で行われた。57回の歴史をもつインカレであるが、本年は久々に大会要項変更が行われた。主な変更点は、オリンピック・スプリントの導入、4km速度競走の廃止、トラックレース参加競技者総数制限の導入、ロードレースの参加人数上限の6~8名への減少・20位までの得点付与により総合成績争いにおけるロードの比重アップ、等である。尚、伝統のタンデム・スプリントは大学対抗では健在である。

- トラックレース -

3日間にわたり新庄自転車競技場で行われた。

男子

スプリント

予選2位通過の植木和広・中央大が、前年の覇者 青沼寿・日本大を決勝で破り優勝。

タンデムスプリント

長い車長と重い総重量ゆえ、先行有利といわれるタンデムスプリントだが、予選400mタイムトライアルで22秒台に7チームがひしめき、大きな実力差はない。結果的にほぼ予選タイム通りの順位に収まったが、予選4位通過の早稲田ペア(江口・千葉)は、1/4決勝で先行のタイミングを見損って5-8位決定戦にまわりメダル争いの機会を逸した。

チーム・パーシュート

今年からのルール変更で、3番目の走者が先頭から5m以内にフィニッシュしなければならなくなったが、法政大が全日本勝者の意地を見せて優勝。春の東日本大学生選手権での雪辱を果たした。

インディビジュアル・パーシュート

黒木裕介・法政大は予選で2位に7秒差をつけ、対戦も圧倒的強さを見せ順当に勝ち上がり優勝。将来の成長が期待されるところである。

オリンピック・スプリント

インカレでは本年が初実施の種目。実力で勝る中央大が優勝。関西大が3位と健闘。中京大は予選まずまずのタイムで走りきりながらも離脱位置違反で涙を吞んだ。

ポイントレース

4km速度競走の廃止に伴ってエントリー者数の増えたポイントレース。三上広・法政大が着実に得点を重ね、最後3回のポイント周回をすべて1位で通過・20点を追加し優勝を飾った。

ケイリン

予選1位通過するも1/2決勝で辛くも4位通過となった地元出身の山口裕之・法政大が優勝。



1kmタイムトライアル

新進気鋭の篠原忍・中央大が優勝するも、タイムは低調。

女子

世代交代に伴い、中尾友美・筑波大が500mTT、スプリントを、木村春恵・八戸大がパーシュート、ポイントレースを制覇。選手層が薄くレースの体を成し難かったポイントレースも集団でのポイント争いが絵になってきている。今後女子競技力の向上に併せて距離の延長、実戦機会の増大を図って行きたいものである。

トラックレース全般として記録的には低調なものの、世代交代・新規加盟校の活躍もみられた。トラック競技終了時点で法政が日本大を9点引き離す54点で首位にたち、中央大も3点差で日大をリード。日大の19年連続総合優勝を阻むものは？今年から配点比率の上だったロードレースが男子総合優勝の行方を左右することとなった。

- ロードレース -

インカレ4日間の最終日の日曜日、ツール・ド・とうほくでおなじみの最上町周回コース(1周9.1km)で行われた。牛の戯れるゆるやかな斜面を上り下りするが、1周の標高差が約100mあり、15周(136.5km)の男子では1,500mの登坂に相当する。

男子

序盤、男子のペースは長丁場を意識してかなりのスローペース。あと10周あたりから数名が入れ替わり立ち替わり逃げを試みるが決まらず。中盤、あと7周に入ったところで4名(岡部武・東北学院大、清水実・日本大、小笠原豪・日本大、高階史章・北海道大)が一時はメイン集団に2分差をつける。しかし、あと3周のところでメイン集団から抜け出した6名が20秒差に猛迫、この際に先頭4人の集団から小笠原豪が脱落する一方、小嶋洋介・京都大、普久原奨・日大の2名が追撃集団から先頭集団に追いつき、先頭集団は5名、1分前後の差を維持しながらゴールスプリントに向かう。メイン集団から杉井健介・早稲田大などが追撃するが届かず。先頭集団からは岡部、高階が戦線離脱、勝負は清水・普久原の日大勢2名と京都大・小嶋の事実上一騎打ちとなるが、小嶋がサポートして日大勢を振り切り、14秒差でフィニッシュ。国立大学初のインカ



レ優勝をもたらした。10位には清水都貴・鹿屋体育大がはいり、国立大学の健闘が印象に残るレースとなった。

女子

弱い選手が後ろに切れる展開となり、先頭集団に6人が生き残る。最終回、3人(中村珠藻・順天堂大、木村春恵・八戸大、大塚恵美・明治大)のスプリント勝負に。1位中村。

結局、男子総合成績ではロードで20位までに1人の入賞者を出せなかった法政が日本大に大逆転を許し3位に転落。中央大が2位。日本大はトラック・ロードを通じて1人の優勝者もだせなかったが19年連続の総合優勝を果たし、選手層の厚さを改めて見せつけた。京都大学はロード優勝者・小嶋の活躍のみならずトラックでも得点し、総合5位、ロード部門では3位に輝いた。女子総合はロード・トラックともに高得点をあげた八戸大が優勝。

トラック各種目の優勝者は本年10月末に韓国・昌原市の新ドームで行われる日韓学生親善大会代表として派遣される予定である。学生競技者のますますの活躍、将来の有力選手・指導者・競技運営分野でのリーダーとしての成長を祈念したい。(松倉 信裕)

[競技結果]

男子1kmタイムトライアル

1	篠原 忍	中央大学	1:09.479
2	黒木 裕介	法政大学	1:09.662
3	盛 一大	日本大学	1:09.785
4	阿部 秀樹	中央大学	1:09.822
5	竹澤 浩司	日本大学	1:10.004
6	大村 慶二	東京工業大学	1:10.409

男子スプリント

1	植木 和広	中央大学
---	-------	------

2	青沼 寿	日本大学
3	吉田 真也	関西大学
4	北野 大地	東北学院大学
5	松永 将	中央大学
6	小野 旭裕	京都産業大学

男子4km個人追抜

1	黒木 裕介	法政大学	4:55.220
2	浦門 義人	中京大学	4:59.978
3	伊藤 太一	日本大学	5:02.198
4	清水 都貴	鹿屋体育大学	5:07.397
5	清水 良行	京都産業大学	5:01.812
6	小嶋 洋介	京都大学	5:04.546

男子ケリソ

1	山口 裕之	法政大学
2	篠原 忍	中央大学
3	松村 友和	関西大学
4	青沼 寿	日本大学
5	北野 大地	東北学院大学
6	大村 慶二	東京工業大学

男子40km^hインテース

1	三上 広	法政大学	43 p
2	清水 良行	京都産業大学	29 p
3	清水 都貴	鹿屋体育大学	24 p
4	西谷 泰治	日本大学	22 p
5	浅野 英明	早稲田大学	21 p
6	小林 涉	明治大学	15 p

男子タフタイムスプリント

1	法政大学	山口・小野木
2	中京大学	富永・鈴木
3	順天堂大学	清水・丸尾
4	中央大学	本田・西川
5	日本大学	前川・前田
6	早稲田大学	江口・千葉

男子リビックススプリント

1	中央大学	植木・松永・阿部	1:20.686
2	東北学院大学	岡部・北野・牧野	1:22.570
3	関西大学	吉井・松村・吉田	1:22.085
4	札幌学院大学	木賊・圓・永平	1:22.896
5	立教大学	阿部・菅野・齋藤	1:23.676
6	鹿屋体育大学	小倉・高橋・清水	1:24.074

男子4km団体追抜

1	法政大学	三上・横山・岡田・黒木	4:35.428
2	日本大学	西谷・竹澤・明珍・盛	4:38.636
3	京都産業大学	浅見・福本・小堺・清水	4:48.420

4	明治大学	小林・阿部・齋藤・盛	4:50.374
5	立命館大学	森・向川・辻・上田	4:50.644
6	信州大学	長友・清水・船田・後藤	4:54.207

女子500mタイムトライアル

1	中尾 友美	筑波大学	39:311
2	仁藤ひろみ	明治大学	41:244
3	齋藤 綾	順天堂大学	41:451
4	遠山 恵	順天堂大学	42:062
5	藤原亜衣里	法政大学	42:084
6	野坂 尚由	中京大学	42:260

女子スプリント

1	中尾 友美	筑波大学
2	藤原亜衣里	法政大学
3	大塚 恵美	明治大学
4	野坂 尚由	中京大学
5	兼子 明子	鹿屋体育大学
6	中村 珠藻	順天堂大学

女子3km個人追抜

1	木村 春恵	八戸大学	4:08.123
2	齋藤 綾	順天堂大学	4:10.097
3	大塚 恵美	明治大学	4:12.949
4	中村 珠藻	順天堂大学	4:14.738
5	許斐真由子	鹿屋体育大学	4:22.501
6	横田 景子	早稲田大学	4:25.477

女子10km^hインテース

1	木村 春恵	八戸大学	22 p
2	中尾 友美	筑波大学	10 p
3	藤原亜衣里	法政大学	10 p
4	中村 珠藻	順天堂大学	6 p
5	齋藤 綾	順天堂大学	5 p
6	大塚 恵美	明治大学	4 p

男子個人ロードレース(136.5km)

1	小嶋 洋介	京都大学	3:52.34
2	清水 実	日本大学	3:52.48
3	普久原 奨	日本大学	3:52.53
4	西谷 泰治	日本大学	3:53.39
5	加納 朋哉	中央大学	3:53.41
6	鈴木 涼平	中央大学	3:53.41
7	大塚 潤	東海大学	3:53.43
8	圓谷 崇	日本大学	3:53.44
9	後藤 正志	日本大学	3:53.45
10	清水 都貴	鹿屋体育大学	3:53.45

女子個人ロードレース(54.6km)

1	中村 珠藻	順天堂大学	1:40:20
2	木村 春恵	八戸大学	1:40:20
3	大塚 恵美	明治大学	1:40:20
4	坂井田理沙	八戸大学	1:40:25
5	許斐真由子	鹿屋体育大学	1:40:30
6	齋藤 綾	順天堂大学	1:40:38
7	横田 景子	早稲田大学	1:47:42
8	兼子 明子	鹿屋体育大学	1:47:47
9	川添 綾子	関西大学	1:49:54
10	川戸はづき	明治大学	1:50:57

大学対抗得点(男子)

1	日本大学	87 p
2	中央大学	64 p
3	法政大学	54 p

大学対抗得点(女子)

1	八戸大学	18 p
2	順天堂大学	16 p
3	筑波大学	13 p

2001 UCIトラック ワールドカップ第5戦 マレーシア・イポー



銀メダルの飯島規之



銅メダルの日本チーム



オリンピックスプリント

トラックワールドカップ第5戦 最終戦)マレーシア大会は、25ヶ国、144名が参加して8月24日から26日の3日間の日程でマレーシアのイポー自転車競技場で開催された。

競技は男子個人追抜競走のスペシャリストで飯島規之が銀メダルを獲得。また、オリンピックスプリント(永井清史・金子貴志・佐野梅一)でも銅メダルを獲得した。男子ケイリンでは佐野梅一が順調に勝ち上がったが、決勝は残念ながら最終周回J.タイガらに捲られ6位に終わった。

今回の結果も含めて、ワールドカップでのポイントで9月26日からベルギーで開催される世界選の出場枠を8枠獲得することができた。

周長250m、屋外、木製、最大斜度43度04分02秒

[競技結果]

男子個人追抜

1	MARVULLI Franco	SUI	4:38.490
2	飯島 規之	JPN	4:46.007
3	KRAVCHENKO Vadim	KAZ	4:43.129

男子初競 トラックスプリント

1	GER	46.360
2	FRA	47.070
3	JPN (永井・金子・佐野)	47.330

男子スプリント

1	DAJKA Jobie	AUS
2	JOHN Matthias	GER
3	WOLFF René	GER
8	金子 貴志	JPN
12	永井 清史	JPN

男子ケイリン

1	DAJKA Jobie	AUS
2	ROUSSEU Florian	FRA
3	NOTHSTEIN Marty	UAS
6	佐野 梅一	JPN

男子ホクトレース

1	GILMORE Mathew	BEL	20 p
2	MADSEN Jimmi	DEN	16 p
3	CARNEY James M	USA	15 p
22	飯島 誠	JPN	(-20)p

SHIMANO®

ペダリングセクション重視



SPD
SHIMANO PEDALING DYNAMICS

株式会社シマノ 〒590-8577 堺市老松町3丁77番地 「お客様相談窓口」電話 0722-43-2829
当社の自転車部門の製品カタログご希望の方は、『カタログ希望』と明記し、300円切手同封の上、
〒590-0944 堺市柳屋町東1-1-1「シマノクラブPRセンター」宛にご郵送下さい。
シマノ自転車製品は、インターネットホームページ <http://cycle.shimano.co.jp> でもご覧になれます。

乗車したまま走りきるコースレアウトがマウンテンバイクレースの世界的な流れになっています。そこで、シマノはよりペダリングを重視したSPDシューズをリリースしました。

高強度カーボンソール搭載

軽量シューズ

SH-M220

¥17,800

標準小売価格(税別)



泥づまりしにくい
シリーズ最軽量ペダル

PD-M858

¥12,600

標準小売価格(税別)



連載企画
第24回

アンチ・ド - ピングについて

薬の知識(15)

- 使用可能な医薬品(神経系作用薬) -

新津谷 真人 ニイツマ マサト

昭和60年 北里大学医学部卒業
循環器内科研修生を経て平成7年より現職の北里大学医
学部、衛生学・公衆衛生学講師
(財)日本体育協会・スポーツドクター
(財)日本自転車競技連盟・アンチド-ピング委員

笠師 久美子 カシクミコ

昭和56年 北海道薬科大学薬学部薬学科卒業
北海道大学歯学部附属病院薬剤部
平成7・8年 日本水泳連盟医学委員会
平成10年よりJCFアンチド-ピング活動をサポート

米本 吉之 ヨネモト ヨシユキ

昭和57年 昭和薬科大学卒業
(株)日本調剤勤務
JCF3級審判、C級スポーツ指導員

分類	商品名(製薬会社名)	薬剤名
14 睡眠剤・鎮静薬	アイオナ - ルナトリウム(ウエルファイド)	セコバルピタ - ルナトリウム
	イソミタ - ル(日本新薬)	アモバルピタ - ル
	ダルメ - ト(ロシュ)	塩酸フルラゼパム
	ネルボン(三共)	ニトラゼパム
	ハルシオン(ファルマシア・アップジョン)	トリアゾラム
	フェノパ - ル(藤永=三共)	フェノバルピタ - ル
	ベンザリン(塩野義)	ニトラゼパム
	抱水クローラ - ル(メルク)	抱水クローラ - ル
	ラボナ(田辺)	ペントバルピタ - ルカルシウム
	15 抗不安薬	アタラックス(ファイザ -)
コント - ル(武田)		クロルジアゼポキシド
セルシン(武田)		ジアゼパム
メンドン(大日本)		クロラゼパム
レキソタン(ロシュ)		プロマゼパム
ワイパックス(山之内)		ロラゼパム
16 向精神薬	コントミン(ウエルファイド)	塩酸クロルプロマジン
	セレネ - ス(大日本)	ハロペリド - ル
	トリフロペラジン(ウエルファイド)	マレイン酸トリフロペラジン
17 筋弛緩薬	ダントリウム(山之内)	ダントロレンナトリウム
	ミオナ - ル(エ - ザイ)	塩酸エペリゾン
	ムスカラム(日本化薬)	塩酸トルペリゾン
	リンラキサ - (大正)	カルバミン酸クロルフェネシン
	ロパキシン(グレラン)	メトカルバモ - ル
	18 抗てんかん薬	アクセノン(大日本)
アレピアチン(大日本)		フェニトイン
エピレオプチマル(エ - ザイ)		エトスクシミド
オスポロット(ウエルファイド)		スルチアム
テグレット - ル(ノバルティス)		カルバマゼピン
デパケン(協和発酵)		バルプロ酸ナトリウム
マイソリン(大日本)		プリミドン
リボトリ - ル(ロシュ)		クロナゼパム

アンチ・ド - ピングの目的

- 不正に使用した薬物の副作用による健康障害が、選手に生じないようにする(選手の健康維持)。
- 競技の公平性を維持する。
- スポ - ツ界における薬物の乱用が、一般社会での薬物乱用を助長することがないようにする(社会への悪影響の防止)。
- スポ - ツ選手が不正に薬物を使用することは、スポ - ツのイメージを悪くします(スポ - ツのイメージの維持)。

理解が不十分な競技規則

- 薬物検査室からの途中退室は陽性となる。
- 出頭までの制限時間は原則30分である。
- 薬物検査を拒否した場合は陽性とみなす。
- 表彰式を薬物検査より優先する。
- 薬物検査室への出頭が遅れると陽性となる。

2001年世界室内自転車競技選手権 派遣決定戦

2001年世界室内競技選手権派遣決定戦が9月15日(土)、16日(日)両日、千葉県我孫子市の中央学院大学体育館でサイクルサッカー13チーム26名とサイクルフィギュア(男女シングル)により開催された。

「サイクルサッカー」

初日にサイクルサッカー出場13チームをA、B、Cの3ブロックに分けてリーグ戦を行い、それぞれ上位2チームが2日目の決勝リーグ(派遣決定戦)へ進み、各A、B、Cブロック1位・2位の6チームのリーグ戦で日本代表を決定した。

今大会注目のチームは、世界選開催地、加世田市(鹿児島県)のC.C.Kサンディーズ現王園・手島組(昨年日本代表)、95・97年日本代表で全日本を5回制覇している東京の都築・森組、そして日本代表4回、全日本6連覇の記録をもつ、日本通運の松本・山本組などであろう。

予選リーグは各ブロック1位に上記チームが順当に残り、各ブロック2位に中堅クラスとしてPOSPISIL BIKIESの蓑原・大野組、神戸ラドバルクラブ芦田・宮川組、アンフィニー京葉有川・黒田組が入り、予想どおりのチームが決勝リーグへ進む展開となった。

2日目の決勝リーグ(決定戦)はリーグ戦中盤でC.C.Kサンディーズの現王園・手島組がPOSPISIL BIKIESの蓑原・大野組に苦戦し、惜敗した。これは加世田C.C.Kサンディーズが今大会の優勝を逃がす一つの要因となった。東京の都築・森組はリーグ戦中盤まで3勝と順当に勝ち進み、日通の松本・山本組は引

き分けをはさむ2勝1分けで、都築・森組が前半で優位に立った。

後半戦、蓑原・大野組は予想以上の力を発揮し日通松本・山本にも勝ち、このチームが今大会の行方の「カギ」を握ったかたちとなった。結局都築・森は現王園・手島に負けたものの、日通に勝ち4勝1敗で優勝した。

なお、2位については加世田の現王園・手島チームとPOSPISIL BIKIESの蓑原・大野組が3勝1敗1分けで勝ち点3と並び、得失点差で第2位にC.C.Kサンディーズの現王園・手島が入った。

「サイクルフィギュア」

男子シングルは佐浦裕行(東京輪球会)がアジア大会前のケガの影響で本来の仕上がりとはいえないものの優勝し、2位に永井隆(東京工業大学1年)が入った。女子シングルは、堀井和美(龍谷エレガントFC)がコンスタントに力を出して優勝した。

(室内自転車競技小委員会 武藤忠雄)

[競技結果]

サイクルサッカー

- 1 チームフジ(都築・森)
- 2 C.C.Kサンディーズ(現王園・手島)
- 3 POSPISIL BIKIES(蓑原・大野)
- 4 日本通運(松本・山本)
- 5 神戸ラドバルクラブ(芦田・宮川)
- 6 アンフィニー京葉(有川・黒田)

サイクルフィギュア

男子

- 1 佐浦 裕行 257.8点
- 2 永井 隆 217.9点

女子

- 1 堀井 和美 261.65点



2001年世界室内自転車競技選手権 日本大会のお知らせ

名称:

2001年世界室内自転車競技選手権日本大会

開催期日:

2001年11月17日(土)~19日(月)

開催場所:

鹿児島県加世田市
(加世田運動公園体育館)

主催:

国際自転車競技連合(UCI)

主管:

2001年世界選室内自転車競技選手権日本大会組織委員会

競技種目:

サイクルサッカー
男子グループA・グループB
サイクルフィギュア
男女各ペア・男女シングル

参加国数: 21ヶ国(予定)

<http://www.city.kaseda.kagoshima.jp>

前売り券発売中!

3日通し券(17~19日).....2,500円

期日指定1日券(17・18日).....1,000円

前売り券は高校生以上。

子ども(小・中学生)は当日券。

当日券 高校生以上.....1,200円

子ども(小・中学生)・600円

[お問い合わせ]

大会実行委員会事務局 TEL: 0993-53-2111





UCI規則の改訂

シクリスムエコー75号にて、2001年1月1日発効のよりUCI規則改訂の重要箇所について抄録したが、9月26日よりアントワープ(ベルギー)において開催のトラック世界選手権大会会場において再改定が告知されたので、ここに採録する。

2001年トラック競技規則の改訂

第3部 トラック・レース

§5 チーム・パーシュート(団体追抜競走)

3.2.080 計時は、3番目の競技者の前輪接地点が中央線手前5mに印された範囲内に位置するならば、各チームの先頭競技者の前輪が中央線に達した時による。この範囲に位置しない場合、3番目の競技者の前輪が中央線に達した時に、手動計時によりそのチームは計時される。

コミセール・パネルは、競技中にわたって中央線とその直前の5mに記された範囲内を2台のカメラにより、スローモーションで見ることができるビデオ・システムを持たなければならない。

(機器の動作不良があった場合、コミセール・パネルは目視観測のみを考慮対象とする。)

委員会ニュース

競技運営委員会

(財)日本自転車競技連盟・競技運営委員会は、2001年9月9日開催した当委員会での下記の決定を行った。

- 1) ブリヂストン社製カーボントラックフレーム(PCPT、旧タイプ)は、現行UCI規則に適合していない。
- 2) しかしながら、該当フレームの普及状況に鑑み、日本国内においては当面の間使用を認める。ただし、競技大会においての使用にあたっては、その都度、競技大会の競技委員長の許諾を得ること。
- 3) コリマ - 社製トラック・フレーム(2000年以前製作の旧タイプ)は、現行UCI規則に適合していない。既に、(財)日本自転車競技連盟は当該フレームを2000年5月から使用を認めていない。

シクロクロス小委員会

2001シーズン シクロクロス セレクション シリーズ開催について

1. 目的

国内各地域のシクロクロスシリーズが連動しあい、国内トップ競技者が参加し競い合うことにより各地へのシクロクロスの普及、発展を図る。又、このシリーズの成績を世界選手権代表候補選手選考の対象とすることで、選考の透明性を図り参加者の競技意欲を高めることを目的とする。
2. 大会名称

「2001シーズン シクロクロス セレクション シリーズ」
3. シリーズ各戦

第1戦	霧ヶ峰大会(長野シクロクロスミ - ティング第1戦)	2001年11月4日
第2戦	富士見大会(長野シクロクロスミ - ティング第3戦)	11月11日
第3戦	野洲川大会(関西シクロクロス第2戦)	11月18日
第4戦	吉和大会(シクロクロスイン広島第1戦)	11月25日
4. 開催対象カテゴリー

エリート男子(カテゴリー1)、エスポワ - ル:U23(カテゴリー1)、エリート女子(カテゴリーL)
5. エントリー

上記大会のオルガナイザーへエントリーする。
6. シリーズ総合成績

各レースの対象カテゴリーごとに上位5名にポイントを与え、シリーズ総合成績を出し世界選手権代表候補選手選考の対象とする。・エリート男子(1、2位)・エスポワ - ル(1位)・エリート女子(1位)ランキングは、大会終了後にJCFホームページ上で公開される。

2001 ロード・トラック・ランキング(9月現在)

[ロードレース]

男子エリート・ロードレース

E	氏名	所属	Ca.	Cl.	Point
1	鈴木 真理	JPCA	E	P	4,835.9
2	狩野 智也	JPCA	E	P	4,248.4
3	橋川 健	JPCA	E	P	4,073.8
4	坂口 博	愛知	E		3,602.0
5	田中 光輝	愛知	E	m	3,242.4
6	田代 恭崇	JPCA	E	P	2,926.3
7	三浦 恭資	JPCA	E	P	2,674.6
8	鈴木 新史	JPCA	E	P	2,546.8
9	新保 光起	JPCA	E	P	2,472.8
10	山本 雅道	神奈川	E		2,430.3
11	広瀬 敏	香川	E		2,358.5
12	行成 秀人	香川	E		2,348.7
13	福島 晋一	JPCA	E	P	2,092.6
14	飯島 誠	JPCA	E	P	2,076.6
15	今西 尚志	京都	E	m	2,073.3
16	岡崎 和也	JPCA	E	P	2,029.2
17	西村 拓也	京都	E		1,889.1
18	中川 康二郎	茨城	E	m	1,865.5
19	山本 泰裕	大阪	E		1,792.3
20	柿沼 章	栃木	E		1,587.3
21	小嶋 洋介	京都	E		1,523.7
22	森 正和	静岡	E		1,450.2
23	マイケル・ブナード	北海道	E		1,336.3
24	阿部 良之	JPCA	E	P	1,256.7
25	宮澤 崇史	長野	E		1,247.7
26	秋田 謙	愛知	E		1,183.1
27	渋谷 淳一	JPCA	E	P	1,055.5
28	大内 薫	大阪	E		999.9
29	江下 健太郎	愛知	E		983.2
30	栗村 修	JPCA	E	P	953.1
31	矢澤 真幸	京都	E		822.4
32	流郷 克哉	群馬	E	m	818.0
33	飯島 規之	JPCA	E	P	800.0
34	水谷 壮宏	JPCA	E	P	797.6
35	高橋 祐介	栃木	E		693.0
36	算 五郎	長野	E		679.2
37	沼田 雄一	愛知	E	m	646.6
38	西山 知宏	福井	E		638.6
39	日置 大介	兵庫	E		631.2
40	大塚 英伸	JPCA	E	P	600.0
41	藤田 将志	三重	E		578.5
42	岡田 哲也	JPCA	E	P	555.2
43	福島 康司	埼玉	E		554.0
44	長野 耕治	愛媛	E		548.0
45	鈴木 雷太	長野	E	P	487.2
46	小林 太樹	大阪	E		481.0
47	石井 雅史	JPCA	E	P	480.0
48	渡辺 忠義	三重	E		449.8
49	広瀬 学	石川	E	m	448.6
50	藤田 勉	東京	E		448.0

男子U23・ロードレース

U	氏名	所属	Ca.	Cl.	Point
1	大塚 潤	静岡	U		1,986.8
2	清水 実	山梨	U		1,449.0
3	西谷 泰治	広島	U		1,391.4
4	園谷 崇	広島	U		1,358.8
5	後藤 正志	岐阜	U		1,343.2
6	別府 匠	神奈川	U		1,301.8
7	郡山 善貴	岐阜	U		1,272.7
8	辻 貴光	京都	U		1,218.5
9	綾部 勇成	神奈川	U		1,111.3
10	岩本 竜太郎	広島	U		990.4
11	佐藤 朋也	秋田	U		836.5
12	普久原 奨	沖縄	U		822.8
13	上田 誠	奈良	U		754.2
14	渡邊 哲平	京都	U		663.6

U	氏名	所属	Ca.	Cl.	Point
15	平井 信昭	兵庫	U		640.8
16	清水 良行	岡山	U		640.8
17	出井 光一	千葉	U		552.4
18	宮川 拓也	滋賀	U		550.6
19	加納 朋哉	埼玉	U		536.0
20	加藤 康則	埼玉	U		526.0
21	櫻川 裕之	千葉	U		518.8
22	小笠原 豪	青森	U		516.8
23	清水 都貴	鹿児島	U		505.6
24	森 誠二	山形	U		503.5
25	橋本 健	東京	U		495.7
26	稲田 佳弘	愛知	U		495.6
27	飯田 輝男	茨城	U		477.3
28	鈴木 謙一	静岡	U		422.4
29	津末 浩平	大分	U		401.8
30	阪田 晋司	京都	U		392.5

男子ジュニア・ロードレース

J	氏名	所属	Ca.	Cl.	Point
1	別府 史之	神奈川	J		1,497.0
2	親川 泰典	岩手	J		1,281.0
3	池田 文志	奈良	J		1,153.8
4	土井 雪広	山形	J		1,011.5
5	小林 彰夫	福島	J		965.8
6	松下 善紀	広島	J		911.0
7	高島 豪	埼玉	J		712.0
8	天沼 雅貴	北海道	J		655.4
9	松原 幸明	奈良	J		652.7
10	隅田 稔助	広島	J		583.2
11	白浜 慶一	広島	J		572.6
12	辻 善光	京都	J		525.0
13	櫻井 透	神奈川	J		516.7
14	安里 勝徳	沖縄	J		451.8
15	糸賀 賢司	福島	J		428.0
16	柏原 剛	京都	J		384.0
17	西牧 仁	福島	J		367.4
18	三浦 光誠	山形	J		340.0
19	小椋 康寛	岐阜	J		338.6
20	佐々木 正美	青森	J		308.5
21	中村 誠	石川	J	s	290.5
22	立里 匡道	山形	J	u	290.0
23	中島 康晴	福井	J		285.0
24	谷垣 雄基	京都	J		277.0
25	矢代 慎吾	富山	J		270.4
26	佐藤 佑一	岩手	J		270.0
27	今井 卓	埼玉	J		246.0
28	小倉 知幸	福島	J		237.5
29	戸田 大策	香川	J		236.1
30	加藤 久詞	愛知	J		215.6

女子・ロードレース

F	氏名	所属	Ca.	Cl.	Point
1	小野山 恵美	愛媛	E		2,542.5
2	木村 春恵	青森	U		2,325.0
3	大塚 恵美	大分	U		2,227.5
4	唐見 実世子	石川	E		2,192.5
5	杉村 久美	岩手	E		2,172.5
6	森本 朱美	鳥取	E		2,102.0
7	中村 珠藻	奈良	U		1,920.0
8	沖 美穂	山梨	E		1,670.0
9	村中 恵美子	東京	E		1,598.5
10	斎藤 綾	秋田	U		1,358.0
11	前川 康子	奈良	U		1,269.6
12	伊与田 尚加	静岡	E		1,179.0
13	松永 舞美	香川	J		1,154.0
14	塩原 桂子	東京	E		953.0
15	谷村 祐美子	奈良	E		952.5
16	小谷 翠	愛知	J		922.0
17	福森 智子	三重	E		802.5
18	許斐 真由子	鹿児島	U		752.0
19	川添 綾子	高知	U		709.5
20	小野 翔子	栃木	J		675.0
21	小高 セツコ	埼玉	E		669.5

F	氏名	所属	Ca.	Cl.	Point
22	横尾 裕子	山形	J		666.0
23	横田 景子	埼玉	U		614.2
24	林 佐知子	東京	E		606.0
25	坂井 理沙	青森	U		595.0
26	増子 郁代	東京	E		583.0
27	西 加奈子	千葉	E		580.0
28	南部 博子	長野	E		550.0
29	兼子 明子	鹿児島	E		548.0
30	安里 あゆみ	沖縄	J		533.5

[トラックレース]

男子エリート・タイムトライアル

TT	氏名	所属	Ca.	Cl.	Point
1	岡本 大嗣	愛媛	U		2,304.0
2	篠原 忍	群馬	U		1,896.5
3	大森 慶一	北海道	U		1,840.0
4	在本 直樹	岡山	E		1,360.0
5	伏見 俊昭	JPCA	E	P	840.0
6	竹沢 浩司	富山	U		835.4
7	荒井 崇博	JPCA	E	P	672.0
8	大村 慶二	東京	E		605.2
9	岩本 和也	JPCA	E	P	583.5
10	濱田 浩司	JPCA	E	P	546.0

男子エリート・スプリント

SP	氏名	所属	Ca.	Cl.	Point
1	植木 和広	神奈川	U		2,192.0
2	湯原 正行	長野	E		2,029.5
3	布居 寛幸	JPCA	E	P	1,546.0
4	大崎 飛雄馬	愛媛	E		1,125.2
5	塩原 正長	広島	E	m	1,074.2
6	三宅 裕武	三重	U		918.0
7	金子 貴志	JPCA	E	P	840.0
8	奥平 充男	京都	E	m	794.6
9	青沼 寿	宮城	U		742.0
10	渡邊 晴智	JPCA	E	P	672.0

男子エリート・個人追抜競走

IP	氏名	所属	Ca.	Cl.	Point
1	黒木 裕介	宮崎	U		2,730.0
2	坂口 博	愛知	E		2,422.0
3	伊藤 太一	山梨	U		1,949.5
4	飯島 規之	JPCA	E	P	840.0
5	吉井 功治	東京	E	m	804.2
6	鳥生 知八	JPCA	E	P	672.0
7	浦門 義人	兵庫	U		667.0
8	行成 秀人	香川	E		602.0
9	岡崎 和也	JPCA	E	P	583.5
10	諸橋 愛	JPCA	E	P	546.0

男子エリート・ポイントレース

PR	氏名	所属	Ca.	Cl.	Point
1	吉井 功治	東京	E	m	2,555.5
2	坂口 博	愛知	E		1,422.6
3	三上 広	青森	U		1,023.2
4	西谷 泰治	広島	U		1,021.0
5	福島 晋一	JPCA	E	P	1,000.0
6	大塚 英伸	JPCA	E	P	926.0
7	楠本 正昭	愛知	E		872.0
8	内藤 彦彦	JPCA	E	P	840.0
9	飯島 誠	JPCA	E	P	750.0
10	岡部 英人	富山	E		709.2

男子エリート・4000m速度競走

MS	氏名	所属	Ca.	Cl.	Point
1	伊藤 太一	山梨	U		170.0
2	有賀 義文	埼玉	E	m	136.0
3	篠原 忍	群馬	U		85.0
4	出井 光一	千葉	U		64.6
5	盛 一大	茨城	U		47.6
6	岡田 将太	茨城	U		22.1

男子ジュニア・スプリント

SP	氏名	所属	Ca.	Cl.	Point
1	永井 清史	岐阜	J		1,770.0
2	石橋慎太郎	静岡	J	s	1,665.0
3	青木 亮太	群馬	J		1,373.0
4	齋藤 友幸	静岡	J		561.6
5	屋良 朝春	沖縄	J		465.0
6	鷹木 官玄	岩手	J		376.0
7	北津留 翼	福岡	J	u	305.5
8	前田 義和	鹿児島	J		267.7
9	中山 健	新潟	J		239.6
10	渡部 幸訓	福島	J		178.6

女子・タイムトライアル

TT	氏名	所属	Ca.	Cl.	Point
1	中尾 友美	奈良	U		2,886.0
2	太刀川麻也	茨城	U		2,540.0
3	篠崎 新純	千葉	J		2,247.0
4	大森 恵	北海道	J		1,927.0
5	遠藤 友子	大分	J		1,375.2
6	仁藤ひろみ	静岡	U		852.2
7	野坂 尚由	愛知	U		841.2
8	小野山恵美	愛媛	E		772.0
9	斎藤 綾	秋田	U		723.5
10	村中恵美子	東京	E		584.3

男子エリート・ケイリン

KE	氏名	所属	Ca.	Cl.	Point
1	塩原 正長	広島	E	m	2,266.0
2	吉田 康則	岡山	E	m	2,008.0
3	松本 陽介	群馬	U		1,174.0
4	石丸 健次	千葉	E	m	1,106.2
5	小野 旭裕	兵庫	U		1,040.0
6	檜崎 雅也	宮崎	U		856.0
7	山口 裕之	山形	U		830.0
8	篠原 忍	群馬	U		772.0
9	松村 友和	大阪	U		583.5
10	松井 健	滋賀	U		413.0

男子ジュニア・個人追抜競走

IP	氏名	所属	Ca.	Cl.	Point
1	臼井 昌巨	岐阜	J		1,210.0
2	明珍 周兵	福島	J		861.5
3	高島 豪	埼玉	J		752.0
4	吉田 公樹	青森	J		376.0
5	小岩 大介	大分	J		250.0
6	佐藤 友和	岩手	J	s	235.2
7	糸賀 賢司	福島	J		190.0
8	辻 龍一	大阪	J		179.6
9	熊谷 薫	福島	J	u	178.6
10	緒方 剛	埼玉	J		166.2

女子・スプリント

SP	氏名	所属	Ca.	Cl.	Point
1	中尾 友美	奈良	U		2,486.0
2	遠藤 友子	大分	J		1,972.0
3	太刀川麻也	茨城	U		1,840.0
4	大森 恵	北海道	J		1,245.0
5	藤原亜衣里	新潟	U		951.2
6	野坂 尚由	愛知	U		769.0
7	篠崎 新純	千葉	J		719.2
8	大塚 恵美	大分	U		623.5
9	遠山 恵	岩手	U		413.5
10	兼子 明子	鹿児島	E		284.2

男子プロ・ケイリン

KE	氏名	所属	Ca.	Cl.	Point
1	内林 久徳	JPCA	E	P	1,490.0
2	市田佳寿浩	JPCA	E	P	672.0
3	前田 拓也	JPCA	E	P	546.0
4	手島 慶介	JPCA	E	P	420.0
5	西川 親幸	JPCA	E	P	319.2
6	會田 正一	JPCA	E	P	235.2
7	池尻 浩一	JPCA	E	P	168.0
8	一丸 安貴	JPCA	E	P	126.0
9	伊藤 保文	JPCA	E	P	117.6

男子ジュニア・ポイントレース

PR	氏名	所属	Ca.	Cl.	Point
1	片山 智晴	岡山	J		1,063.0
2	高島 豪	埼玉	J		920.0
3	親川 泰典	岩手	J		616.0
4	廣瀬 勝光	群馬	J		565.4
5	池田 丈志	奈良	J		460.0
6	柴田 祐也	岐阜	J		436.0
7	別府 史之	神奈川	J		400.0
8	小岩 大介	大分	J		390.5
9	土井 雪広	山形	J		388.0
10	隅田 幸助	広島	J		370.0

女子・個人追抜競走

IP	氏名	所属	Ca.	Cl.	Point
1	木村 春恵	青森	U		2,730.0
2	斎藤 綾	秋田	U		2,234.0
3	杉村 久美	岩手	E		2,010.0
4	中村 珠藻	奈良	U		1,666.0
5	村中恵美子	東京	E		991.2
6	小野山恵美	愛媛	E		751.5
7	松永 舞美	香川	J		740.0
8	大塚 恵美	大分	U		693.5
9	小谷 翠	愛知	E		615.0
10	許斐真由子	鹿児島	U		538.2

男子ジュニア・タイムトライアル

TT	氏名	所属	Ca.	Cl.	Point
1	西村 行貴	熊本	J		1,328.6
2	永井 清史	岐阜	J		1,040.0
3	臼井 昌巨	岐阜	J		720.0
4	井上 雄三	埼玉	J	s	690.0
5	中田 博之	富山	J		650.0
6	今泉 薫	群馬	J		513.0
7	屋良 朝春	沖縄	J		470.0
8	須藤 雄太	千葉	J		445.5
9	橋本 強	愛媛	J		443.2
10	福田 正人	埼玉	J		421.7

男子ジュニア・4000m速度競走

MS	氏名	所属	Ca.	Cl.	Point
1	糸賀 賢司	福島	J		470.0
2	田中 誠	福岡	J		376.0
3	三澤 康人	宮城	J	u	305.5
4	緒方 剛	埼玉	J		235.0
5	柴田 大全	埼玉	J		178.6
6	金山 武	新潟	J		176.3
7	村形 幸侑	山形	J		131.6
8	田畑 英行	岩手	J		94.0
9	清水 恒彦	宮城	J		70.5
10	緑川 修平	福島	J		61.1

女子・ポイントレース

PR	氏名	所属	Ca.	Cl.	Point
1	松永 舞美	香川	J		2,120.0
2	森本 朱美	鳥取	E		1,722.0
3	杉村 久美	岩手	E		1,709.2
4	木村 春恵	青森	U		1,490.0
5	斎藤 綾	秋田	U		1,465.2
6	藤原亜衣里	新潟	U		1,297.5
7	大塚 恵美	大分	U		1,033.2
8	中村 珠藻	奈良	U		960.2
9	唐見実世子	石川	E		722.0
10	中尾 友美	奈良	U		712.0

.....
 ・ エリート: E(プロ:EP, マスター:Em), アンダー23: U、ジュニア: J(15才:Ju, 18才で1~3月生:Js) ・

対象大会: 9月中旬まで

トラック世界選 強化合宿

9月11日から15日まで、ベルギーのアントワープにて開催される2001年トラック世界選手権に備え、静岡県日本サイクルスポーツセンター250m自転車競技場に於いて、トラック強化合宿が行われた。



2001年トラック世界選手権・代表選手団

大会名： 2001年トラック世界選手権自転車競技大会
 開催場所： ベルギー・アントワープ
 開催期間： 平成13年9月26日(水)～9月30日(日)
 派遣期間： 平成13年9月21日(金)～10月2日(火)
 代表選手団：
 団長 藤本 清孝
 監督 班目 秀雄
 ヘッドコーチ ゲーリー・ウエスト
 コーチ 福田 公生・國枝 一成
 メカニック 藤原富美男
 マッサージャー 柳 浩史
 医科学 形本 静夫・小林 裕幸
 通訳 増田恵美子
 総務 名畑 陽二
 選手 飯島 規之(JPCA)・山田 裕仁(JPCA)
 伏見 俊昭(JPCA)・金子 貴志(JPCA)
 高城 信雄(JPCA)・長塚 智広(JPCA)
 荒井 崇博(JPCA)・大森 慶一(北海道)

2001年ロード世界選手権・代表選手団

大会名： 2001年ロード世界選手権自転車競技大会
 開催場所： ポルトガル・リスボン
 開催期間： 平成13年10月9日(火)～10月14日(日)
 派遣期間： 平成13年10月5日(金)～10月16日(火)
 代表選手団：
 監督 高橋 松吉
 コーチ 山宮 正
 メカニック 鬼原 積
 マッサージャー 石田 宗男
 総務 斎藤晃一郎
 選手 沖 美穂(JPCA)・岡崎 和也(JPCA)
 佐藤 朋也(秋田)・大塚 潤(静岡)
 圓谷 崇(福島)・別府 史之(神奈川)
 土井 雪広(山形)・親川 泰典(盛岡)

サイクルスポーツフェスティバル2001 in 東京ドーム

9月5日(水)後楽園の東京ドームで「サイクルスポーツフェスティバル2001」が開催され、世界選派遣選手他により、オリンピックスプリント、ケイリンなどが行われた。



競技大会 結果

大会名・チーム名等については略して記載

2001JCFMTBツバサシリーズ J1安比大会 (9/1-2 岩手・安比高原)

DH男子エリート (3.8km)

- 1 内嶋 亮 東京 A&F SANTA 5:43.59
- 2 塚本 岳 埼玉 MX/MONGOOSE 5:47.75
- 3 安達 靖 兵庫 Team TMX 5:48.06
- 4 井手川直樹 広島 グローバル 5:52.46
- 5 竹本 将史 埼玉 BRIDGESTONE 5:52.51
- 6 加納慎一郎 山梨 GT Japan-ir 6:02.32
- 7 河合 暁延 愛知 6:03.26
- 8 高橋 唯之 福島 MX/SPEED 6:04.13
- 9 鈴木 健二 静岡 MX/MONGOOSE 6:05.29
- 10 猪俣 康一 神奈川 HAYES INTENSE 6:06.42

DH女子エリート (3.8km)

- 1 末政 実緒 兵庫 GT Japan 6:50.58
- 2 渡辺キャリー 長野 Mom&Pop's 7:39.61
- 3 猪俣 浩子 神奈川 FOES/CREDIT 8:04.33
- 4 藤中 治子 京都 KUWAHARA 8:11.72
- 5 池田 恭子 東京 Fun Fancy 8:40.87
- 6 加治やえみ 東京 Bumpy PRIDE1 8:42.45
- 7 菅原 亮香 宮城 9:14.80
- 8 福本 弘佳 兵庫 RingoRoad 9:36.69
- 9 寿 弥生 岩手 EXTREME 9:46.19
- 10 服部 良子 神奈川 FUMA YOKOHAMA 10:40.42

XC男子エリート (42.0km)

- 1 竹谷 賢二 千葉 SPECIALIZED 2:05:58.6
- 2 色川 浩樹 福島 GIANT J. 2:10:00.5
- 3 野口 忍 長野 SCOTT P. 2:12:53.8
- 4 VINCENT FLANGAN 大阪 TREK 2:13:11.3
- 5 深谷 幸彦 愛知 NEWS 2:14:02.1
- 6 松本 駿 長野 GT J. 2:14:31.6
- 7 栄田 富夫 北海道 SCOTT 2:16:22.8
- 8 鈴木 良則 神奈川 XARU/T-serv 2:16:54.5
- 9 白石 真悟 大阪 大阪大学 2:18:19.8
- 10 橋田淳一郎 東京 1時 2:19:02.4

XC女子エリート (24.0km)

- 1 中口 裕代 長野 846 SCHWINN 1:32:54.0
- 2 松本こずえ 宮城 SCOTTみちのく 1:35:39.7
- 3 真下 正美 神奈川 ARAI M. 1:36:09.6
- 4 窪田 二葉 長野 A & F 1:44:55.9

2001JCFMTBツバサシリーズ J1瀬女大会 (9/22-23 石川・瀬女高原)

DH男子エリート (3.65km)

- 1 高橋 唯之 福島 MX/SPEED 5:31.98
- 2 丸山 弘起 長野 SCOTT,p. 5:37.92
- 3 大島 礼治 兵庫 GIANT J. 5:39.46
- 4 多田 引之 大阪 SCHWINN,HID 5:39.87
- 5 鍋島 健一 福岡 グリッド 5:45.03
- 6 河合 暁延 愛知 mom&pop's 5:46.57
- 7 寺本 俊介 三重 CHEETA J. 5:50.13
- 8 岩瀬 信彦 神奈川 GT Japan 5:52.81
- 9 赤堀 吉功 岐阜 型システム 5:54.98

- 10 河合 良紀 三重 カトリック 5:55.41
- DH女子エリート (3.65km)
- 1 末政 実緒 兵庫 GT Japan 6:26.20
 - 2 渡辺キャリー 長野 mom&pop's 6:42.00
 - 3 増田 まみ 埼玉 MX, HARO 6:57.63
 - 4 池田 恭子 東京 FunFancy 7:07.19
 - 5 久家 麻紀 岐阜 DD BIKES 7:31.47
 - 6 藤中 治子 京都 KUWAHARA 7:36.79
 - 7 杉山 美佐 静岡 DD BIKES 7:42.64
 - 8 鴨下 美穂 神奈川 DD BIKES 7:44.10
 - 9 福本 弘佳 兵庫 Ringo Road 7:47.18
 - 10 松田 恵美 東京 MX/MONGOOSE 8:06.29

XC男子エリート (36.0km)

- 1 色川 浩樹 福島 GIANT J. 1:52:48.10
- 2 山口 孝徳 長野 CWS 1:53:30.36
- 3 竹谷 賢二 千葉 SPECIALIZED 1:55:17.54
- 4 小平 幸永 長野 スコレスリング 1:56:13.17
- 5 深谷 幸彦 愛知 NEWS 1:56:58.44
- 6 松本 駿 長野 GT Japan 1:56:58.90
- 7 広瀬 允 千葉 CWS 1:59:21.73
- 8 栄田 富夫 長野 SCOTT P. 1:59:44.10
- 9 佐藤 貴巳 大分 Roppo Jamis 1:59:49.98
- 10 西田 和弥 長野 A&F BRIKO 2:01:44.66

XC女子エリート (24.0km)

- 1 南部 博子 長野 TREK J. 1:30:06.54
- 2 中込由香里 長野 SY-Nak 1:34:42.85
- 3 佐藤由布子 神奈川 SY-Nak 1:35:48.58
- 4 真下 正美 神奈川 ARAI M. 1:41:35.10
- 5 中口 裕代 長野 846 SCHWINN 1:42:43.57
- 6 田中 裕子 長野 BRIKO A&F 1:44:06.32
- 7 深井 薫 大阪 FUN RIDE 1:44:22.45
- 8 酒井 真清 大阪 ガチャン -1LAP
- 9 松本こずえ 宮城 SCOTTみちのく -1LAP
- 10 中西 聖子 愛知 -1LAP

第37回東日本学生自転車競技新人戦 (9/23 神奈川・川崎競輪場)

男子1kmタイムトライアル

- 1 竹沢 浩司 日本大学 1:10.161
- 2 田辺 勝規 東北学院大学 1:14.420
- 3 菅 宏和 駒澤大学 1:16.620
- 4 金田 浩司 筑波大学 1:17.226
- 5 中田 裕樹 東京大学 1:17.983
- 6 佐々木紘士 日本大学 1:20.614

男子スプリント

- 1 篠原 忍 中央大学
- 2 丸尾 哲司 順天堂大学
- 3 牧野真左彦 東北学院大学
- 4 齋藤 英成 立教大学
- 5 西川 哲平 中央大学
- 6 中川 健史 明治大学

男子4km個人追抜

- 1 前田 吉昭 日本大学 5:14.467
- 2 高橋 辰徳 東北学院大学 5:14.710
- 3 入谷 壽輝 中央大学 5:21.627
- 4 小野 栄一 日本大学 5:23.717
- 5 久間 泰 北海学園北見大学 5:25.768
- 6 稲子 淳一 立教大学 5:28.055

男子ケリソ

- 1 黒木 裕介 法政大学
- 2 和田 健次 東北学院大学
- 3 櫻山新太郎 日本大学
- 4 小野木一仁 法政大学
- 5 平岡 靖章 北海学園北見大学

- 6 井戸川智則 日本大学
- 男子30kmホールド
- 1 明珍多久雄 日本大学 36 p
 - 2 伊藤 太一 日本大学 24 p
 - 3 普久原 奨 日本大学 23 p
 - 4 盛 一大 日本大学 (-1) 31 p
 - 5 室井 佑介 法政大学 (-2) 15 p
 - 6 平林 大宜 早稲田大学 (-2) 10 p

- 女子500mタイムトライアル
- 1 仁藤ひろみ 明治大学 41:677

女子スプリント

- 1 齋藤 綾 順天堂大学
 - 2 遠山 恵 順天堂大学
- 女子3km個人追抜
- 1 木村 春恵 八戸大学 4:12.791
 - 2 中村 珠藻 順天堂大学 4:17.444
 - 3 益田 聖子 順天堂大学 4:37.905

日本実業団ケリソin神戸ホールド (9/24 兵庫・神戸ホールド)

BR-1 (66.5km)

- 1 水谷 壮宏 日本舗道R. 1:37:49.445
- 2 今西 尚志 シュル-シグ 1:37:49.714
- 3 飯島 誠 ミタハ 和P. 1:37:49.846
- 4 三浦 恭資 キン・マルイ 1:37:49.958
- 5 福島 晋一 グリッド ストアツカ 1:37:50.018
- 6 鈴木 真理 シュル-シグ 1:37:50.123
- 7 広瀬 敏 日本舗道R. 1:37:50.157
- 8 山本 雅道 シュル-シグ 1:37:50.189
- 9 田代 恭崇 グリッド ストアツカ 1:37:50.221
- 10 岡崎 和也 キン・マルイ 1:37:50.282

BR-2 (49.0km)

- 1 小畑 郁 なるしまフルド 1:17:41.367
- 2 片岡 道和 CLUB ANGLE 1:17:41.597
- 3 山田 隆史 ミタハ 和P. 1:17:41.824
- 4 中島 義基 チームアップ 1:17:41.964
- 5 宇津野邦之 日野自動車R. 1:17:42.291
- 6 山崎 敏正 チームアカツ 1:17:42.448
- 7 中村 元彦 チーム Giro 1:17:42.558
- 8 小嶋 健 フォーネットウカ 1:17:42.559
- 9 宮村 優 トンデモクラブ 1:17:42.756
- 10 仲沢 俊 ショコラブ 材 1:17:42.884

BR-3 (35.0km)

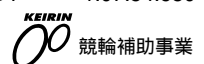
- 1 福田 崇哉 なるしまフルド 56:51.997
- 2 郷右近智久 なるしまフルド 56:52.494
- 3 山崎 秀嗣 BALBA R. 56:52.848
- 4 荒木 広一 チームアカツ 56:52.947
- 5 中島 雅央 シバル リンキング 56:53.060
- 6 山口 隆彦 フイトフット RT 56:53.425
- 7 辻本 勝彦 トンデモクラブ 56:53.522
- 8 岡田 直樹 ミシルヴァあさひ 56:53.612
- 9 鳴谷 浩一 CCM-ALL WAYS 56:53.679
- 10 原木 秀典 チームサイクルパス 56:53.837

女子エリート (49.0km)

- 1 小野山恵美 イキップ ユーレシグ 1:17:48.775

女子オープン (35.0km)

- 1 仁藤ひとみ スコレスリング チーム 1:02:03.064
- 2 山口麻理子 BALBA R. 1:02:04.920
- 3 佐々木美恵 BALBA R. 1:02:05.022
- 4 梶原 加名 VELOCISTA 1:07:50.614
- 5 小栗 美樹 DADDY 1:07:54.680



(財)日本自転車競技連盟 専門委員会小委員会・部会名簿

医科学部会	医科学委員	形本 静夫・三重野寛治・海村 昌和・岡田 純一・小林 裕幸・田畑 昭秀 中島 宣行・淵本 隆文・宮田 浩二・石原 啓次・小清水孝子
強化スタッフ部会	トレーナー メカニック 通 訊	柳 浩史・石田 宗男 藤原富美男・鬼原 積・押鴨 和範 増田恵美子・徳永 信資
室内小委員会	委 員	井上 和俊・武藤 忠雄・佐藤 康彦
シクロクロス小委員会	座 長 委 員	大山 智 富樫 慎治・矢野 淳
BMX小委員会	委 員	高橋 博・宇佐美義昭・桜庭 隆史

事務局人事 業務部競技課長 (退任) 岩橋 浩之 (新任) 遠峯 武

連盟の動き (9月上旬～下旬)

- 9月 3日 第4回常務理事会
 4日 職員会議・シクリスムエコー編集会議
 6日 世界選ロード合宿遠征選手出発<第1便>
 7日 第2回国際委員会
 8日 第1回競技運営委員会
 9日 第1回制度等調査・研究会(登録制度、ランキング制度、計時システム)
 11日 トラック世界選強化合宿(～15日) 於:静岡県・日本CSC
 14日 世界選ロードジュニア合宿遠征選手出発<第2便>
 17日 第5回常務理事会・第3回理事会
 16日 トラック強化合宿(～18日) 於:静岡県・日本CSC
 19日 自転車業界関係記者団会合
 21日 世界選トラック日本選手団出発(帰国 10/2) 於:ベルギー・アントワープ
 広報・記者クラブ関係者会合
 25日 ジャパンカップ推進委員会 於:宇都宮
 28日 世界室内自転車競技選手権日本大会実行委員会 於:加世田市

編集後記

この10月号が出る頃には、世界選手権トラック競技大会の結果が出ていると思いますが、今年も一流選手が参加しています。この世界選で、ケイリン種目が誕生して、日本人の優勝はまだありません。日本で生まれた競輪がカタカナになって世界に広まることは、大変嬉しいことで、誇りに思っています。ですから未だ優勝者が日本から出ないことは寂しい。

昔、スプリント競走で10連覇を成し遂げた中野浩一氏の記録は前人未到で、未だ破られてはいません。総理大臣顕彰もいただき、昭和天皇より園遊会でお声を掛けられたことも、今では遠い記憶になっています。

しかし、国民に競輪選手の名前を聞くと、未だに中野氏の知名度は素晴らしく、自転車業界に多大の功績を残してくれました。国民からも支持され、今ではオリンピック種目にもなりました。

後に続く若い選手が早く育ってくれるのを祈ります。スポーツは、まず勝つこと、これが基本。つぎにレースを楽しむことです。国民大衆に溶け込んでいる自転車の魅力を感じる分アピールしてくれたのが、9月5日東京ドームで開催されたフェスティバル。こういう機会を地道に、地域と密着していきながら実施することが大切です。各県の自転車競技連盟と一緒に、自転車教室、イベント等を実施し、自転車の魅力を精一杯出して、将来につなげられるよう努力していきたい。(鈴木賢三)



シクリスムエコー No.81 2001年10月号

発行/財団法人 日本自転車競技連盟

発行人/岩橋 昭一

編集人/村田 統司

編集事務局/財団法人 日本自転車競技連盟 事務局

〒107-0052 東京都港区赤坂1-9-15 日本自転車会館内

TEL 03-3582-3713 FAX 03-5561-0508

URL <http://www.jcf.or.jp/>